

事務事業名	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業				会計	介護保険		事業種別	政策	開始	23	終了	
H27担当課等名	長寿支援課		H27係等名	地域包括ケア担当		H26係等名		長寿支援係					
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり				施策	35	高齢者福祉の推進				
目的	対象(誰・何を)	市内の高齢者				対象指標	指標名及び単位			26年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	高齢者が生きがいを実感しながら、楽しく健康づくりもできるようにする。					生きがいを持って活動できる場所や働ける場の整備を求める高齢者数			16061			
	向上させたい上位施策の成果指標	いきいき暮らせている高齢者の割合											
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	体力評価により介護予防効果があった参加者の割合				1	0.9	0.9	0.9				
	定性目標												
事業概要	<p>高齢者の生きがいづくり、仲間づくり、健康づくりを推進するため、以下の事業を行う。</p> <p>1 高齢者のグループをつくり、農作業を柱とした諸活動を行う。また、保健師や栄養士による健康に関わる話を組み込む。農作業に入る前に体操を行う。 種まきから収穫、消費まで参加者自身が行うことで、自己実現を図る。加えて、農作業で身体を動かすことにより健康づくり、及びグループ内での仲間づくりを行う。</p> <p>2 「農愉快」という愛称を用いて、ブログを発信するなど市内外に事業の様子をPRする。</p>												
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標				
	<p>1 h24年の議会提言も受けて、将来的に地域の高齢者自身が運営できるよう、シルバー人材センターやNPOへの委託によって実施。(鼎会場:シルバー人材センター 上郷会場:NPO花の木)</p> <p>2 1会場につき10人程度の高齢者を募り、農地を利用し参加者の共同作業によって時季に即した野菜を栽培。収穫物を材料として収穫祭を夏・秋1回ずつ開催。</p> <p>3 参加者全員による活動日は年間20回以上とする。</p> <p>4 農作業前に体操を実施。事業の初回と最終回に体力測定を実施し、事業の健康増進への効果を把握</p> <p>5 活動状況をブログにより発信</p>					<p>1 事業を行う箇所数</p> <p>2 参加登録者数</p> <p>3 事業の実施回数</p> <p>4 開始時より終了時の体力評価が向上した参加者の割合</p> <p>5 ブログのアクセス数</p>			<p>1 2カ所</p> <p>2 28人</p> <p>3 42回</p> <p>4 16人/測定者18人</p> <p>5(年間) 1,201人</p> <p>5(累計) 15,593人</p>				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		734	1,133	970	1,030	地域支援事業の任意事業 H25.26 国39.5% 県19.75% 市19.75% 1号21% H27 国39%、県19.5%、市19.5%、第1号被保険者保険料22%							
国庫支出金		290	448	383	401								
県支出金		145	224	192	201								
起債													
その他													
一般財源		299	461	395	428								
人件費計(千円)②		916		916									
正規職員所要時間		220		220									
臨時職員所要時間		120		120									
総事業費①+②		1,650	1,133	1,886	1,030								
事業内容・目標達成状況の振り返り	体力の維持・向上がみられた参加者が多かった。事業の様子を伝えるブログのアクセス数も多く、地元ラジオに取り上げられたり、県外自治体からの事業視察があるなど、この事業についての関心を高めている。												
改革改善の考え方	①問題点	議会からの提言(24年):高齢者の希望や思いも汲みつつ、各所でより多くの方に参加してもらえるように事業を進められたい。将来的には、地域やNPOなどに事業主体を移行することも念頭において事業展開されたい。											
	②改革提案	セルフケアによる健康づくりの暮らし方へ向けて、会員制の自主化へむけて取り組む。											